

報道関係各位

2012年4月2日

<ご参考> 2012年度 新入社員 入社式

日時：本日(4月2日) 14時

場所：株式会社ヤナセ 本社

入社人数：88名(グループ) <大卒：49名 高専、専門卒：39名>

出席者：88名

代表取締役社長 井出 健義 入社式訓辞 要旨

入社おめでとうございます。

遅れていた桜の開花とともに、ここに皆さんをお迎えできたことは大きな喜びです。

報道などご承知のとおり、昨今の純輸入車(外国メーカー生産車)の販売動向は、昨年8月以降、好調に推移しています。本年はリーマンショック以前の、年間23~24万台の水準まで市場規模が回復するほどの勢いで、1~3月の販売も大きく伸長しました。今後もダブルエコ(エコノミー・エコロジー)+ダウンサイジングの輸入車が、皆さんのような若者世代の価値観変化と相まって、着実に購買層の裾野を拡げ、純輸入車シェア10%を超える原動力になると期待しています。

当社は、1915年の創業から次の4つの貴重な財産を守り続けています。

1. 素晴らしいお客さまに恵まれていること
2. 「メルセデス・ベンツ」をはじめとする素晴らしい商品
3. 優秀な社員と強い現場力
4. “ヤナセ”というブランド価値

2015年には創業100周年を迎えますが、今後もこの4つの財産をしっかり守り通すことができれば、次の100年も繁栄・存続可能と考えています。ぜひ当社の社員として心得ておいてください。

2010年に策定した中長期ビジョンでは、「顧客目線の原点に戻り、魅力ある全天候型持続・成長可能企業になる」ことを目標に掲げました。“ダーウィンの種の起源”ではありませんが、「変化の時は、変化に合わせ、変わったものだけが生き残れる」といいます。いつ何が起きても存続・成長できる会社になろうと目標を定め、新3カ年中期計画を「TRANSFORM 2013」と称して、変革・変身に鋭意取り組んでいます。

本日、新たに皆さんを社員として迎えるにあたり、私から4つのお願いがあります。

- 1 番目、「お客さまへの感謝の心」をしっかり持つ
- 2 番目、自分の仕事と商品を好きになる
- 3 番目、自身を成長させるための学習を生涯続ける
- 4 番目、自分をここまで育ててくれたご両親・先生・先輩・友人たちに対する感謝の気持ちをしっかり持ち、恩返しを見つける

「若い時の苦勞は買ってでもせよ」との教えがあります。若い時のがんばりは、自己の成長に直結し、必ず報われます。大いに苦勞を買って、自分の人生に挑戦して下さい。